

特集 元気な中小企業訪問記18

第1章

逆風を乗り越えて進む 中小企業の経営力



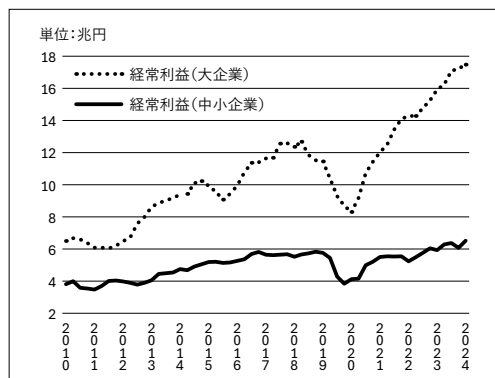
「元気な中小企業訪問記18」執筆チーム

1. さらなる成長を求められる中小企業

中小企業を取り巻く経営環境は、依然として厳しい。円安および物価上昇の継続に加え、政策金利が2008年以来の高い水準に達したことで、生産・投資コストが増大した。さらに、慢性的な人手不足の深刻化も重なり、複合的な負担が中小企業の経営を圧迫している。

しかし、そうした逆風が吹く中にあっても、中小企業の経常利益は着実に改善している。中小企業は、地域に根差した経済活動の担い手であり、中小企業の成長力強化は、日本経済活性化の「カギ」となる。今後は、付加価値の増大と生産性の向上に向けた取組みを一段と加速させていく必要がある（図表）。

図表 日本企業の経常利益の推移



出所：財務省「法人企業統計調査」（平成22年～令和6年）から筆者作成
注1. 大企業は資本金10億円以上、中小企業は資本金1千万円以上1億円未満の企業で集計 2. 金融業、保険業は含まない

2. 本特集の概要

中小企業が以上のような課題を克服し、さらなる成長を遂げるには、経営者の「経営力」を高めることが重要である。具体的には、「他の経営者との交流や学び直しに取り組む経営者の成長意欲」、「市場環境を踏まえた戦略的な計画の策定」、「経営理念や経営情報の共有を重視する経営や従業員を大切にす人材経営」の3つである（出所：中小企業庁「2025年版中小企業白書・小規模企業白書」2025年）。

本特集では、変化の激しい時代においても、活力ある経営を実現している中小企業4社の事例を取り上げる。各企業に共通するのは、経営者の確かな「経営力」を背景に、地域との強い信頼関係を築きながら、地域に密着した新たな価値創出に取り組んでいることだ。

また、自社が持つ特長や優位性を活用した製品やサービス展開のほか、デジタル技術の活用、省資源化などに積極的に挑戦している。

さらに、環境問題への配慮や人材の確保と育成など、社会的課題への関心も高く、収益を上げることにのみ終始せず、長期的な視点で持続可能な経営を実現しようと努力している姿勢が印象深い。

本特集で取り上げた各企業の創意工夫に富んだ取組み事例が、全国各地の中小企業診断士の支援活動において一助となれば、執筆チーム一同として、これ以上の喜びはない。